

洗練されたデザインと機能を持つ多機能ペン

STAEDTLER®

avant-garde *light*

ステッドラー アバンギャルド・ライト



基本の3機能

- ・油性ボールペン 黒/赤
- ・シャープペンシル 0.5mm

使用方法

1. ペン先の出し方



軸を水平にして使用するペンの表示を上に向けた状態でノック部を押してください。

2. シャープペンシル芯の出し方



シャープペンシルの先を出した後、さらにノック部を押すと芯が出ます。

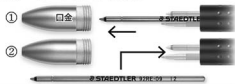
3. ペン先の戻し方



本体側面にある○ボタンを押すとペン先が戻ります。

ボールペンリフィル交換・シャープ芯の補充について

1. ボールペンリフィルの交換



口金部分を外し、交換するリフィルを引き抜きます。新しいリフィルをパイプにしっかりと差し込みます。

2. シャープ芯の補充



口金部分を外し、シャープメカ部を引き抜き、パイプにシャープ芯を1~2本補充し、メカ部を戻してください。

●口金の取り外し方

ノック部側を右手にして持ち、口金部分をつまんで矢印の方向に回すと口金を外れます。



●口金を戻す際の注意

口金を元に戻す際は、軸部本体と口金のネジを真っ直ぐに合わせ、軽力で締めつけてください。無理に力を込めて締め込みますとねじ山がつぶれ使用できなくなる恐れがあります。

消しゴム

消しゴムをご使用の際は、ノック部からプッシュボタンを取り外してください。使用後は、元の位置にしっかりと差し込んでください。



多機能ペンの取り扱い注意事項

製品の製造には万全を期しておりますが、多機能ペンは単一のボディに複数のペンを収納する機構上、下記のような症状が発生する場合があります。注意事項を確認の上、ご使用ください。

シャープペンシルについて

● シャープペンシル筆記時の注意

シャープペンシル筆記時には、ペン先を立ててご使用ください。右図のように本体を寝かせた状態で筆記すると多機能ペンの特性上、シャープメカ部やシャープ芯に過度な負担がかかり通常のシャープペンシルに比べて、芯が折れやすくなる原因となります。



注意 筆記時の角度



本体を寝かせた状態で筆記すると芯が折れやすくなってしまいます。

● 先金のゆるみ

シャープペンシルの芯が頻繁に折れてしまう場合は、口金を外し、シャープメカ部の先金にゆるみがないか確認してください。先金がゆるんでいると、シャープ芯が真っ直ぐに保持されずノックするたびに芯が折れてしまう場合があります。また、ゆるんだまま使用すると作動不良を起こす場合があります。

注意 シャープメカ部のゆるみ



シャープメカ部の先金がゆるむと芯が折れやすくなってしまいます。

● シャープペンシル使用後の注意

使用後は、シャープペンシルの芯を完全に戻してからペン先を収納してください。芯が出た状態では、他のペン先を出す際に干渉し、シャープ芯が折れてしまう場合があります。

● シャープ芯の補充

補充は、シャープ芯(0.5mm)が2本以内になるようにしてください。芯の本数が多いとパイプ内で芯が詰まったり、折れたりする場合があります。

ボールペンについて

● ボールペン筆記時の注意

筆記時は、必ずペン先を下向きにして筆記してください。ボールペンは横向きや上向きで筆記すると先端のボール部より空気が入り、インクが逆流し、インク漏れを起こしたり、書けなくなる場合があります。

● ボールペン使用後の注意

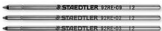
使用後は、必ずペン先を収納してください。ペン先を出したままポケットなどに入れると衣服を汚したり、先端のボールが傷つき筆記不良の原因となります。

注意 筆記時の向き



ペン先は必ず下に向けてご使用ください。

アバンギャルドシリーズ対応リフィル・替えパーツのご案内



- 黒ボールペン 品番 92RE-09
- 蛍光オレンジボールペン 品番 92RE-14
- シャープメカ部 品番 927 AGLSM
- 赤ボールペン 品番 92RE-02
- スタイルスペン(感圧式) 品番 92RE-ST
- 口金(ちがね) 品番 927 AGLF
- 青ボールペン 品番 92RE-03
- ※ 静電容量方式のタッチパネルには対応していません。
- プッシュボタン 品番 927 AGLK

ステッドラー日本株式会社

〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-6-3
お客様相談室: TEL 03-5835-2815
<http://www.staedtler.co.jp> PR-0454